

## 専門基礎分野

### 【専門基礎分野の考え方】

専門基礎分野は、看護学を学ぶ上で人体を系統立てて理解し、看護ケアにつながるよう理解する。また健康や障害の状態に応じて社会資源を活用できるよう基礎的能力を養うことを目的に科目設定した。今回のカリキュラム改正において強調されているのは専門基礎分野が、専門分野に活かされるような内容の工夫である。

そのために、臨床事例に関連づけて理解を深め、実践に活かすことができるような工夫をしている。

看護実践能力を高める上で、専門基礎分野は基盤であると位置づけながらも、当校では1年次から3年次まで設定することで、知識を確認しながら実習と講義が分断されないよう看護学の学習とともに進めていきながら問題解決能力・思考性を高めていくことができるように科目構造を考えた。

以上を踏まえ、学習内容は、「人体の構造と機能」「疾病の成り立ちと回復の促進」で、安全且つ科学的根拠に基づいた思考過程を高めるため、正常か異常を見分けるための科学的知識を養う。そのため、人体を系統立てて理解するため解剖生理学、栄養学、病理学、微生物学、薬理学を教授し、健康、疾病、障害に関する観察力・判断力を高め基礎知識を養う。「健康支援と社会保障制度」では、人間の健康生活を支える保健医療福祉に関する基本的知識を深めるとともに、関係する職種の役割を学び、他職種との連携・協働の重要性を学ぶ。また、人々が生涯を通じて、健康や障害の状態に応じて社会資源を活用できる基礎的知識を学んでいくために保健医療論、社会福祉、関係法規、公衆衛生学を教授する。

### 【目的】

人体を系統立てて理解することにより、人体の構造や機能が障害されたとき、どのような変化があるのかを学び、観察力、判断力を養う。また、保健医療福祉にかかわる基礎的知識を学び、健康や障害の状態に応じて社会資源を活用できるよう基礎的能力を養う。

### 【目標】

1. 人間の身体的側面の系統的理解に必要な基礎的知識を学ぶ。
2. 人体の構造や機能が障害されたときの人体の変化と回復の過程を理解する。
3. 人間が健康生活を支える保健・医療・福祉に関する基本的知識を深め、専門職業人としての役割を理解する。
4. 人々が生涯を通じて、健康や障害の状態に応じて社会資源を活用できる基礎的知識を学ぶ。